

平川市生活支援サービス等補助金制度を利用して

“通いの場”をつくりませんか？

市民が主役！

市では、65歳以上の方々の閉じこもり予防、体力維持、認知症予防、社会的孤立の防止、地域住民の交流を目的に、定期的集うことのできる場所「通いの場」の設置を推進しています。

現在、6つの団体が「平川市生活支援サービス等補助金制度」を活用した「通いの場」を設置し活動をしています。みなさんも地域の方が気軽に参加できる「通いの場」をつくってみませんか？



平川市生活支援サービス等補助金制度について

●補助対象／

- ①年間8回以上、1回の開催につき3人以上の高齢者が参加する「通いの場」を開催すること。
- ②介護予防につながる活動（運動、レクリエーション、茶話会など）を行なうものであること。
- ③1回あたりの開催時間が1時間半以上であること。
- ④特定の個人や団体のみが利益を受ける活動、営利を目的とした活動でないこと。

●立ち上げ補助／50,000円

→備品などを購入するための費用。初年度のみ対象となります。

●運営費補助／2,000円(1回あたり)

+65歳以上1人あたり200円を加算

→運営に必要な消耗品、会場借上料などの費用。1年で54回まで対象となります。

※人件費、委託料、食糧費は対象となりません。
(水分補給のための飲み物、簡素な茶菓子などは対象となります。)

●介護予防活動補助／100,000円(1年分)

→講師への謝礼にあてる費用。

●問合せ／平川市地域包括支援センター ☎44-1111(内線1157)

●生活支援コーディネーターがお手伝いします！

補助金制度による金銭面での支援のほか、書類作成や運営のお手伝いをしています。中身を詳しく知りたい、見学してみたい、自分の地域でやってみたい方は、まずは「第1層生活支援コーディネーター」にご相談ください。

主な流れ

第1層生活支援コーディネーターに連絡をします。



第1層、第2層生活支援コーディネーターが町会や団体の中に入って、今後の流れなどのお話をします。

第2層生活支援コーディネーターが入って、運営の立ち上げ・運営の支援をします。(それぞれ5回程度)



① 第1層生活支援コーディネーター／市内全域の「通いの場」に関する制度のご説明や設置の支援などの全般的な支援を行っています。

・平川市社会福祉協議会（平川市健康センター内） 柏木町藤山16-1 ☎44-5937

② 第2層生活支援コーディネーター／それぞれの担当区域の「通いの場」に関する、書類の作成や運営支援を行っています。

- ・平賀在宅介護支援センター（特別養護老人ホーム緑青園内） 沖館和田84 ☎44-6116
- ・三笠在宅介護支援センター（介護老人保健施設三笠ケアセンター内） 館田西和田200 ☎44-8877
- ・在宅介護支援センターさわやか園（特別養護老人ホームさわやか園内） 日沼樋田85 ☎43-5432
- ・碓ヶ関在宅介護支援センター（平川市社会福祉協議会碓ヶ関事業所内） 碓ヶ関三笠山120-1 ☎45-2182

INTERVIEW!

平川市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 工藤大樹さんにお話をきいてみました！



1. 生活支援コーディネーターの活動に対する総合的なコメント

平成29年4月から生活支援コーディネーターとして地域の支え合い活動の推進に取り組み始め、3年目を迎えました。全国的に高齢化率の上昇がみられる中で、地域における介護予防、健康づくりの必要性が高まっており、地域の皆さんの思いを聞き、一緒になって考え、通いの場の推進に向けて取り組んでいます。

2. 現在、通いの場を推進し感じること

市内の各地には地域特有の活動があり、また、人とのつながりが強く感じられます。こうした地域の皆さんが取り組まれている活動が、将来においても絶えることなく続けられるよう、介護予防や健康づくりの観点から、私たちが応援できればと考えています。

3. 今後、通いの場がもたらす可能性について

人手不足は、高齢者にとどまらず皆が共通して抱える悩みです。分野や世代の垣根を超えて協力し合える関係性を構築するためにも、通いの場が有効な手段の一つであり、誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことの実現につながるのではないのでしょうか。



現在開催中の6つの団体をご紹介します



団体名

金屋通いの場

金屋



代表 森内 卓爾さん(特定非営利活動法人いんどりライフ 代表理事)

代表の声 当会では交流を深めることで“困ったときはお互いさま”の関係を生み、住み慣れた地域で支え合って暮らし続けることができるよう、子どもからお年寄りまで気軽に集まれる地域の居場所を目指します。他町会からの見学・参加も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

参加者の声 健康を保ってこの地域で暮らしていくには良い居場所だと思います。健康チェックのために遠くまで出掛けるのは交通手段などを考えると面倒だが、家から近いので助かっています。皆で集まって行う体操や工作は毎回楽しいので、色んな人に参加を呼び掛けたいです。

●活動頻度/月1回程度 ●活動内容/介護予防体操、レクリエーション(軽スポーツ大会、苔玉作り、陶芸体験など)、笑いヨガ、フレイル健康チェックなど ●問合せ/☎57-3274
【メール】irodori-life@bc5.so-net.ne.jp(森内)

団体名

サロン絆

新屋町



代表 山口 金彦さん

代表の声 現在町会全体で活動していますが、農繁期になってから参加人数が少なくなりました。農閑期にはまた大勢が参加し活発にやっていきたいです。欲を言えば新屋町に何団体か立ち上げれば、更に気の合う仲間同士で活発に活動できるのかもしれない。

参加者の声 毎回みんなとの交流を楽しみに通っています。

●活動頻度/月2回程度
●活動内容/介護予防体操、認知症サポーター養成講座、生活支援ボランティア養成講座(基礎編)、レクリエーション、茶話会など
●問合せ/☎57-3215(山口)

団体名

Gamataなでしこ

蒲田



代表 齋藤 弘子さん

代表の声 介護予防体操の仲間で発足しました。蒲田以外の方も参加OKです。みんなで笑って楽しい時間を過ごしましょう!!

参加者の声 6月30日は毎年行っている町居のオープンガーデンを散策し、帰りにサンフェスタいしかわで買い物をしてきました。気心の知れた仲間と楽しむ時間は日常の活力になっています。今後も仲間と楽しく活動していきたいです。

- 活動頻度/年8回程度
- 活動内容/介護予防体操、脳トレ、レクリエーション、デコパージュ石鹸、介護食教室、ウォーキングなど
- 問合せ/☎57-2607 (齋藤)

団体名

仲よし会

猿賀



代表 齋藤 ナサさん

代表の声 もともと温泉と食事を月1～2回楽しんでいて10人ほどの仲間で発足しました。8月から活動を開始したばかりです。気の置けない仲間で楽しみながら認知症予防していきたいです。

参加者の声 健康づくりについても講師を招いて勉強しようと企画しています。みんなで楽しく活動し長生きしたい。

- 活動頻度/月1回程度
- 活動内容/茶話会、介護予防体操、脳トレ、塗り絵、介護教室など
- 問合せ/平川市地域包括支援センター ☎44-1111 (内線1157)

団体名

碓ヶ関 フォークダンスの会

碓ヶ関



代表 佐藤 榮子さん

代表の声 みんなで楽しく体を動かしてフォークダンス踊っています。フォークダンスは世界各国の音楽にあわせていろいろな振り付けがあり、音楽を聞き、リズムに合わせて手足を動かすので、「運動、脳トレ」になっています。

参加者の声 万歩計を装着してやっています。こんなに動いたんだなあ実感し、達成感も感じながらモチベーションも高まります。

- 活動頻度/月3回程度
- 活動内容/フォークダンス、交流会、茶話会など
- 問合せ/☎45-2952 (佐藤)



団体名

サロン自由

碓ヶ関



代表 久保 京子さん

代表の声 1年間を通じて、体操だけでなくいろいろなジャンルで楽しんでできる介護予防を行っています。

参加者の声 「はじめて体験するゲームも簡単で楽しめます。またやりたいと思えます。」「みんなで楽しみながら脳トレもできます。」「笑っておしゃべりできて楽しいです。」「月1回の楽しみです。」

- 活動頻度/月1回程度
- 活動内容/介護予防体操、脳トレ、ボードゲーム、茶話会など
- 問合せ/平川市地域包括支援センター ☎44-1111 (内線1157)